

令和元年度

事業報告書

公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構

令和元年度 事業報告

自 平成31年4月1日

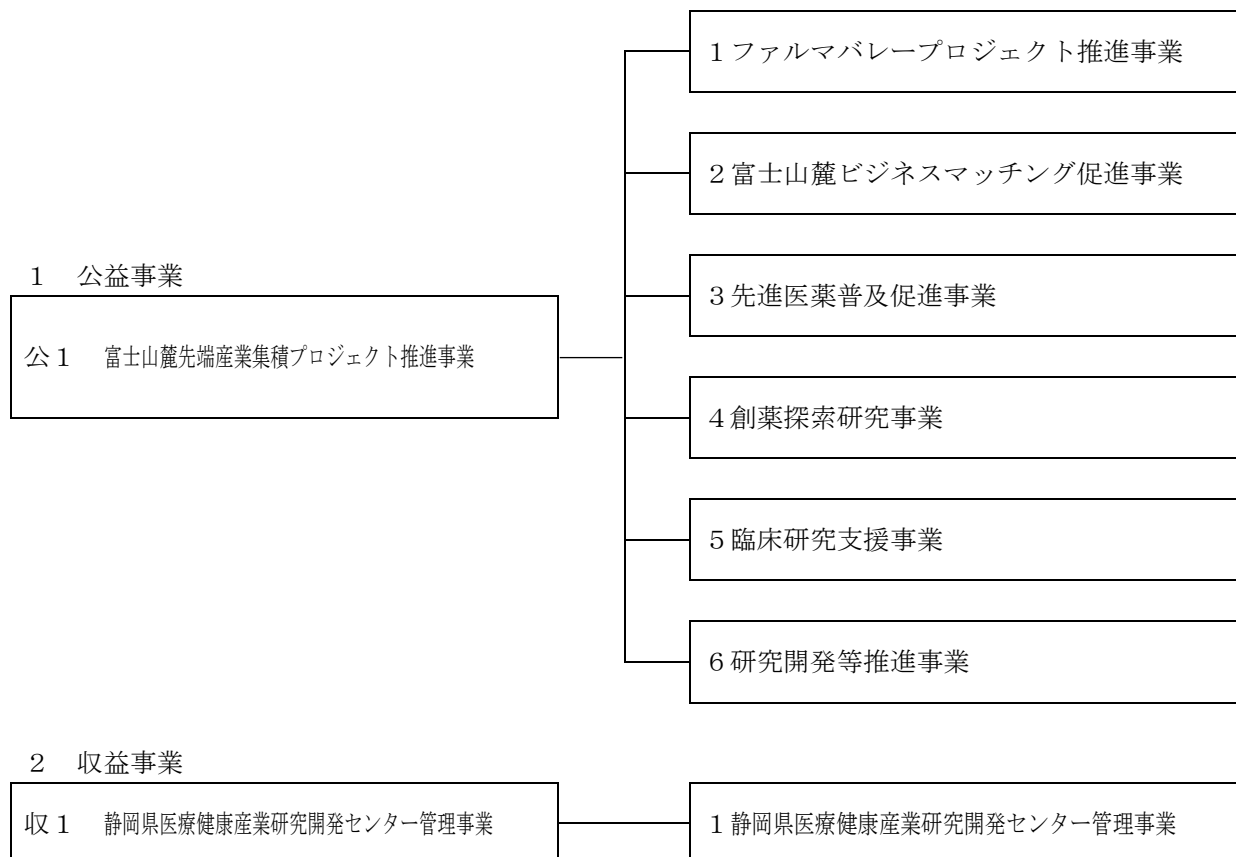
至 令和2年3月31日

<事業総括>

当機構は、静岡県が進めるファルマバレープロジェクトを推進し、医療機関を中心として医療健康産業が集積する医療城下町の創生を図り、もって世界一の健康長寿県の形成及び地域経済の発展に寄与することを目的に、専門性の高い事業を機動的に行うことができる新たな一般財団法人として、平成29年8月1日に設立され、平成31年4月1日に公益財団法人へ改組した。

令和元年度は公益財団法人として事業開始初年度であり、事業のブラッシュアップを図りながら医療現場のニーズに基づく医療機器等のものづくりを進め、また、ファルマバレープロジェクトの一層の推進を目指して、超高齢社会を見据えた「健康長寿・自立支援プロジェクト」を立ち上げ、介護・福祉分野へのアプローチを強化するとともに、山梨県を中心とした広域連携を推進するなど新たな取組みを開始した。

<令和元年度事業一覧>



公 益 事 業 <事業費 276,627,795 円>

公 1 富士山麓先端健康産業集積プロジェクト推進事業 <事業費 264,156,384 円>

県で策定したファルマバレープロジェクト戦略計画に基づき、産学官金、医看工連携による画期的な医療機器等の開発による新産業の創出と人材育成を図り、地域経済の活性化につなげるため、各事業を実施した。

1 ファルマバレープロジェクト推進事業 <事業費 104,052,714 円>

ファルマバレーセンターを運営し、アドバイザーを活用した共同研究や医看工連携による研究開発の推進を行うほか、交流会や医療機器等テーマ実現化のための検討会議等を開催し産学官金の交流や産業化を支援した。

(1) 産学官金ネットワーク形成

産学官金ネットワークを形成させるための産業支援ネットワーク会議の開催や、大学・企業の訪問調査等を実施した。

ア) 産業支援ネットワーク会議

会 場：静岡県医療健康産業研究開発センター

参加者：各回 約 50 名（商工団体、教育・研究機関、金融機関、行政）

開催日	内 容
5 月 15 日	産学官金関係機関の情報交換 「PVCの支援による製品化の事例紹介」
6 月 19 日	産学官金関係機関の情報交換 「健康長寿・自立支援プロジェクト」について事業内容を紹介
10 月 30 日	産学官金関係機関の情報交換 「知財を活用した地方創生のための事業プロデューサー派遣事業」について紹介
12 月 6 日	産学官金関係機関の情報交換 「一般財団法人日本品質保証機構」の事業紹介

※ 1 月の会議は講師予定者の都合により中止

※ 3 月の会議は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

イ) 企業、大学、医療機関等の訪問

380 ヶ所（延べ件数）

ウ) かかりつけ湯の推進

かかりつけ湯の選定 41施設

(2) 新産業・新事業シーズ創出

医療・介護現場のニーズを製品化に結び付ける医用機器等開発テーマ実現化のための検討会議の開催及び同会議で実現化の候補になった開発テーマについて、医療機器等の製品化に向けた技術的課題を解決するために医療機器等可能性調査（試作）を行った。

ア) ニーズ検討・製品開発会議

開催日：令和元年10月1日、令和2年1月14日

- 内 容：①医療機関から臨床現場における医用機器開発等に関わるニーズを収集
②収集したニーズについて、試作、事業化への取り組みについて協議
③試作・製品化に取り組む案件については、『可能性調査審査会』へ上程

イ) 可能性調査審査会 2回（10/3、12/2）

開発テーマ6件を審査し、6件を採択した。（実証試作を委託）

開発テーマ	委託先	交付決定額
下肢筋力訓練機具	(有)京和工業	950 千円
ポジクッションTの用途拡大「緩和ケア・透析用」	(株)丸井商事	706 千円
可食性舌カバー試作機	(株)三協	476 千円
高齢者向け遠近両用メガネ	セキトランスシステム(株)	350 千円
頭部固定枕	静岡県工業技術研究所	979 千円
放射線がん治療用乳房固定具	(株)ア・ジャストポリマー	597 千円

(3) 超高齢社会における自立支援事業

ア) 「健康長寿・自立支援」プロジェクト推進のため、コンサルティング企業と委託契約を締結し「人生100年住宅整備」のファルマモデルに関する検討とコンソーシアムの構築

を行った。

第1回検討会	8月30日	がんセンター カンファ5
第2回検討会	10月3日	ファルマバレーセンター会議室
第3回検討会	11月15日	ファルマバレーセンター会議室
第4回検討会	12月4日	ファルマバレーセンター会議室
第5回検討会	12月26日	ファルマバレーセンター会議室
第6回検討会	1月23日	ファルマバレーセンター会議室
第7回検討会	2月19日	ファルマバレーセンター会議室

イ) 自立支援機器等開発助成

県内中小企業の研究開発成果の早期実用化を推進するため助成をした。

応募：5件

採択：4件

審査会：令和元年6月13日

事業テーマ	企業名	交付決定額
静脈下腿血行改善機器の製品開発	(有)京和工業	190千円
高齢者向け後付け型自動車運転支援システム開発及び評価	(有)栄和自動車	792千円
自立支援型電動昇降式トイレベッドの開発と販売戦略	(株)トマト	3,000千円
重度障害児の採型モールドクッションを使用したカーシート	(株)3rd Island	3,000千円

(4) 医療機器等開発助成事業

県内中小企業の研究開発成果の早期実用化を推進するため助成をした。

応募：6件(2次募集 2件)

採択：5件(2次募集 2件)

辞退：1件(2次募集 1件)

審査会：令和元年6月13日 2次審査会：令和元年8月29日

事業テーマ	企業名	交付決定額
放射線治療用補助具シートボラスの開発	(株)ア・ジャストポリマー	1,273 千円
生体分解性ステント用マグネシウム合金極細管を効率的に製作する革新的な加工方法の開発	(株)マクルウ	340 千円
自然落下点滴のための輸液速度制御装置の製品開発	(株)トライテック	2,013 千円
乳がん診断用穿刺針の開発	東海部品工業(株)	2,095 千円

(5) 研究開発支援

企業の有する高い技術力を生かした研究開発に対し、専門家アドバイザー等を活用し、「医薬品・医療機器等の品質有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」等に準拠した開発を支援した。

(6) 医療健康関連産業人材育成

地域企業の有する高い技術力と研究開発成果を新事業・新産業の創出に結びつけるための講座を開催した。

ア) 地域企業の有する高い技術力と研究開発成果を新事業・新産業の創出に結びつけるため、技術経営、知的財産権を生かす交渉学の習得や、意思決定力の向上等を目指した講座を開催した。

○経営戦略セミナー（全8回） 受講者：30名

講師：隅田浩司 東京富士大学経営学部長

三好陽介 ランドン IP 合同会社事業開発部長

会場：静岡県医療健康産業研究開発センター

開催日	内 容
8月28日	<技術経営入門> 技術で勝ち、経営で成功するための基本戦略を学ぶ
9月4日	<技術経営理論> テクノロジー・マネジメントに関する最近のトレンドを学ぶ

9月18日	<戦略思考概論> 戦略策定に必要な戦略的思考、論理力、推論力を強化する
10月2日	<組織論入門> 個を生かし、組織を活性化するための方法論を学ぶ
10月9日	<交渉学入門> 社内の資産、特に知的財産権を生かす交渉の基礎理論を学ぶ
10月23日	<戦略的意思決定とリーダーシップ> リスクを把握し適切な意思決定を行い、リーダーシップを発揮する方法論について学ぶ
11月6日	<経営戦略論> 経営戦略について、特に戦略の意義及び戦略策定力について学ぶ
11月20日	<デジタル・エコノミーと市場分析、戦略> デジタル・エコノミーと経営戦略、特にプラットフォーム及びイノベーションに関する経営戦略に必要な分析手法について学ぶ

イ) 医療機器開発においてリーダーとなりうる人材を育成するためのセミナーを開催した。

医療機器・ヘルスケア/イノベーションセミナー

・「求められる医療現場のニーズ」

開催日：令和元年9月21日

講師：池野文昭 スタンフォード大学循環器科 主任研究員

八木雅和 大阪大学大学院医学系研究科バイオデザイン学

共同研究講座特任准教授

竹下修由 国立がん研究センター 医師

八木橋真央 東北大学病院臨床研究推進センター 医学博士

会場：県庁会議室

受講者：84名

・「実践バイオデザイン～入門ワークショップ～」

会場：静岡県医療健康産業研究開発センター

開催日：令和元年11月22日、令和元年11月29日

内容：①バイオデザインのコンセプト ②ニーズ特定のプロセス

③ニーズ選別のプロセス ④コンセプト創造のプロセス

⑤コンセプト選択のプロセス

受講者：35名

(7) 広報・販路開拓

ア) ファルマバレープロジェクト関連ニュースのレター発行や同プロジェクト普及促進のためのパンフレットの作成等を行った。

- ・視察受入れ 18団体 163名
- ・メールマガジンの配信 127回配信
- ・ニュースレターの発行 6,000部
- ・ファルマバレープロジェクトパンフレット作成 1,500部

イ) 全国の展示会や地域の産業祭に出展し、ファルマバレーセンターの活動やプロジェクト関連企業などのPRとともに、販路開拓に向けた支援を行った。

展示会等	開催場所	開催日
メディカルメッセ	名古屋国際会議場	4月27日～29日
メディカルショージャパン	グランキューブ大阪	6月13日～15日
2019 TECH BEAT Shizuoka	グランシップ	7月24日～25日
メディメッセージ2019	ツインメッセ静岡	9月28日～29日
しんきんビジネスマッチングフェア2019	ポートメッセ名古屋	10月16日
産業振興フェア in いわた	アミューズ豊田	11月8日～9日
小山町産業祭	小山町総合文化会館	11月10日
HOSPEX Japan2019	東京ビッグサイト	11月20日～22日
長泉町産業祭	長泉町健康公園アリーナ	11月24日
介護ロボット静岡フォーラム	プラサヴェルデ	1月17日
清水町産業祭	清水町	2月2日

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	グランシップ	2月7日～8日
ICT/福祉機器展示・説明会	ふじさんメッセ	2月18日
ヘルスケア医療機器開発展	インテックス大阪	2月26日～28日

2 富士山麓ビジネスマッチング促進事業 <事業費 12,865,885円>

医療機器製造分野への参入を目指す地域企業などを対象に、医療機器メーカーとの取引促進や産学官連携等から創出される製品化シーズと地域企業が有する技術とのビジネスマッチングを支援するため、各社の製品・技術等に関する訪問調査をはじめ、医療機器ビジネス参入セミナー、マッチングセッションなどを開催した。

(1) 専門講座の開催

医療機器分野への参入促進セミナー

開催日	内 容
第1回 12月20日	会場：静岡県医療健康産業研究開発センター 受講者 52名 講演Ⅰ (一社)日本医工ものづくりコモンズ 専務理事 柏野聡彦氏 講演Ⅱ 東海部品工業(株) 代表取締役 盛田延之氏 講演Ⅲ 自治医科大学医学部 教授 間藤卓氏
第2回 1月28日	会場：静岡パルシェ 受講者 41名 講演Ⅰ (株)メディカルラボパートナーズ 代表取締役 清水美雪氏 講演Ⅱ タマチ工業(株) 取締役会長 太田邦博氏 講演Ⅲ 自治医科大学医学部 教授 間藤卓氏

(2) 技術シーズ情報の収集

企業情報「ふじのくにの宝物2020」改訂版の発行

発行 1,000部

掲載 561社

新規掲載企業 クラスター産業分野支援貸付関係 30社

介護・福祉関係 12社

(3) マッチングセッションの開催

ア) 富士山麓産学官金連携フォーラム

県東部4信金主催のビジネスマッチング商談会と併催

開催日：令和元年11月14日(木)

会場：プラサヴェルデ(沼津市)

出展団体：58団体 77ブース

基調講演：「医療福祉との連携による家づくり」

講師：前向き住宅グループ 代表 河原圭一 氏

来場者：約600名

イ) MEDIX (第10回ヘルスケア・医療機器 開発展) (再掲)

開催日：令和2年2月20日～22日

会場：インテックス大阪(大阪市)

来場者：38名(PVCブース来場者)

<市町ゾーン展示>

静岡県東部12市町PR	パネル展示、パンフレット配架
ファルマバレープロジェクト	パネル展示(PVC、PVP、東部12市町の取り組み)

<企業ゾーン展示>

日商産業(株)	バイトガード
東海部品工業(株)	Jパルス・Jネイル・鍛造ブランク他
(株)トマト	自立支援ベッド型トイレ
(株)タウンズ	インフルエンザ検査キット
タマチ工業(株)	フレキシブルシャフト他

(4) 企業訪問、事業化等の各種支援

ア) よろず支援拠点・ファルマバレー交流会開催

開催日：令和2年1月14日

会 場：静岡県医療健康産業研究開発センター 会議室
内 容：PVCの周知と県内の新たなプロジェクト参画企業の発掘
静岡県中西部の企業を中心にPVC事業の紹介
参加企業の情報交換とPVCコーディネーターとの個別情報交換
参加企業：株式会社私の眠り井鍋（藤枝市）
株式会社ナユタ（浜松市）
アプロメーカー株式会社（伊豆市）
アベリア合同会社（三島市）
三島信用金庫（長泉町）
株式会社第一技研（富士市）
株式会社NIPPON LIFE STYLE（県外）
富士信用金庫（富士市）
よろず支援拠点（東部）
色の樹（東部）

イ) クラスター産業分野支援貸付利用実績

件 数：91件

金 額：7,725,629千円

3 先進医薬普及促進事業 <事業費 27,263,359円>

先進医薬の普及促進及び医療の質の向上のため、静岡県治験ネットワークを運営し支援倫理委員会や教育研修などにより、ネットワーク病院の治験や臨床研究を支援した。

(1) 治験ネットワークの運営

ア) 静岡県治験ネットワーク推進部会（全体会議）の開催

開催日：令和元年6月27日

会 場：レイアップ御幸町ビル（静岡市）

内 容：活動内容、事業実績等の協議

出席者：24名

イ) ネットワーク病院の訪問 6病院

ウ) 支援倫理委員会部会の開催

部会を開催し、臨床研究に関するマニュアル（臨床研究実施時における手順書）の検討を行った。

開催日	会 場	備 考
8月26日	静岡駅ビル「パルシェ」	IRB 委員等研修部会
10月9日	静岡駅ビル「パルシェ」	〃
12月12日	静岡駅ビル「パルシェ」	〃
1月29日	静岡駅ビル「パルシェ」	〃
2月27日	遠鉄貸会議室	〃
3月18日	静岡駅ビル「パルシェ」	〃

(2) 治験の推進

ア) 企業への営業活動、医療機関の調整等

製薬企業、団体等への訪問 16社 (延べ18回)

イ) 治験実施の相談、受託支援 (平成15年から延べ)

相 談 : 53社 178プロトコール

支援契約 : 39社 123プロトコール (令和元年度 1社、2プロトコール)

(3) 教育研修

ア) 教育研修ワーキンググループ開催

開催日	内 容	会 場	出席者
6月14日	教育研修事業検討	静岡パルシェ	4名
2月19日	教育研修事業検討	レイアップ御幸町ビル	4名

イ) スキルアップ研修等

開催日	研修名	会 場	出席者
6月22日	西部CRCの会	浜松プレスタワー	47名
9月21日	認定CRCを目指すための講座	静岡パルシェ	16名
11月9日	スキルアップ研修	あざれあ	24名
1月25日	西部CRCの会	J A 静岡厚生連遠州病院	21名
2月8日	アドバンストセミナー	日本大学三島駅北口校舎	101名

(4) 静岡県治験ネットワーク病院の臨床研究の推進

静岡県治験ネットワークにおける臨床研究の活性化を目的として、平成29年度から臨床研究検討ワーキンググループを中心にネットワークで実施する臨床研究についての検討を進めている。なお、現在2試験の実施に至っている。

(5) 県民への治験啓発活動

ネットワーク病院が行うオープンホスピタル等、一般住民が参加する機会を捉え、普及啓発用資材を活用した啓発活動を行った。

4 創薬探索研究事業 <事業費 36,567,709円>

静岡県立大学や静岡県環境衛生科学研究所等と連携し、静岡発の創薬を目指した創薬探索研究を推進した。

(1) 化合物収集等

ア) 創薬探索助言委員会

開催日：令和2年1月9日

場 所：静岡県医療健康産業研究開発センター

委 員：6名

内 容：①静岡県立大学創薬探索センター及び静岡県環境衛生科学研究所の活動状況についての報告

②静岡県立大学創薬探索センターと企業とのアライアンスの状況についての報告

③外部機関との共同研究の実施状況についての報告

④委員からの助言

イ) 化合物収集、共同研究

ライブラリー化合物収集数 約12万種類

特許申請累計 31件（うち海外出願 14件） 登録累計 7件

ウ) 県内外機関との共同研究

静岡県内外の研究機関等と共同研究を実施した。ファルマバレーセンター所有の化合物ライブラリーから化合物を共同研究先に提供し、新規医薬品候補化合物の探索を進めた。

共同研究先 8件

(2) 創薬探索研究委託事業

静岡県立大学や静岡県環境衛生科学研究所へ医薬品候補化合物の可能性検討や化合物ライブ

ラリーの管理を委託した。

5 臨床研究支援事業 <事業費 57,060,918 円>

静岡がんセンターを中心に地域がん診療連携拠点病院（10 医療機関）と連携し、がん領域の治験実施体制の強化を図るとともに、臨床研究を支援した。

(1) 静岡がん治験ネットワーク推進事業

静岡がんセンターを中心に地域がん診療連携拠点病院（10 医療機関）と連携し、がん領域の治験実施体制の強化を図った。

ア) 全体会議の開催

開催日	内 容	会 場	出席者
5 月 8 日	・ VISUAL 試験結果報告 ・ AEOLUS 試験経過報告 ・ 新規テーマの検討	C S A 貸会議室	21 名
10 月 15 日	・ 新規試験プロトコルの検討	静岡パルシェ	21 名
2 月 17 日	・ 新規試験プロトコルの検討	静岡パルシェ	20 名

イ) 胃がん患者を対象とした多施設共同臨床試験の実施

参加医療機関：18 医療機関（県内 11 機関・県外 7 機関）

ウ) 進行固形がん患者を対象とした多施設共同臨床試験の実施

参加医療機関：10 医療機関（県内 10 機関）

(2) 臨床研究推進事業

医療技術の進歩に寄与する先進医療の開発促進、エビデンスの確立等を図るため、静岡県治験ネットワーク登録医療機関に所属する研究者が主体となり計画、実施する臨床研究に対し支援した。

試験名	研究内容	使用薬剤	実施期間
JASPAC01-A1	市販されている抗がん剤（腓がん）に関する多施設共同臨床研究（JASPAC01 附随研究）	塩酸ゲムシタビン S-1	平成 18 年度～

JIPANG	市販されている抗がん剤（肺がん）に関する多施設共同臨床研究	シスプラチン ビノレルビン ペメトレキセド	平成 23 年度～
JASPAC04	市販されている抗がん剤（膵がん）に関する多施設共同臨床研究	塩酸ゲムシタビン S-1 放射線	平成 23 年度～
JASPAC06	市販されている抗がん剤（膵がん）に関する多施設共同臨床研究	オキサリプラチン イリノテカン フルオロウラシル レボホリナートカルシウム	平成 26 年度～
FAST-ERAS Trial	市販されている経腸栄養剤に関する単施設臨床研究	経腸栄養剤	平成 26 年度～
ABLE	市販されているアミノ酸飲料に関する単施設臨床研究	アミノ酸飲料	平成 26 年度～
TS-1 涙液	市販の抗がん剤（胃がん）の単施設臨床研究	TS-1	平成 27 年度～
EXPECT-study	市販の抗がん剤（乳がん）の多施設共同臨床研究	エリブリン	平成 27 年度～
MODURATE	市販の抗がん剤（大腸がん）の多施設共同臨床研究	イリノテカン ベバシズマブ TAS-102	平成 28 年度～
OPERA02	舌再建術後の機能に関する多施設共同臨床研究	なし	平成 29 年度～

(3) 治験倫理審査委員会運営事業

静岡がんセンターが平成 22 年度から設置している企業治験専門の治験倫理審査委員会を運営した。

治験倫理審査委員会運営（月 1 回開催）

会場：トラストシティ・カンファレンス（東京）

回数	開催日	新規審査	継続審査	変更審査
1	4 月 18 日	3 件	124 件	40 件
2	5 月 16 日	2 件	179 件	26 件

3	6月20日	3件	216件	31件
4	7月11日	2件	171件	41件
5	8月15日	2件	204件	41件
6	9月19日	4件	196件	39件
7	10月17日	2件	181件	23件
8	11月21日	3件	205件	40件
9	12月19日	3件	187件	38件
10	1月16日	3件	172件	32件
11	2月20日	3件	211件	46件
12	3月19日	1件	146件	32件
計		31件	2,192件	429件

※その他審査案件数：逸脱審査1件、迅速審査423件、保留審査1件、終了等報告41件

6 研究開発等推進事業 <事業費 26,345,799円>

国等が実施する支援事業の事業管理機関として、企業、研究機関及び医療機関とコンソーシアムを組み、研究開発等の再委託をするなど事業管理を行った。

(1) 地域中核企業ローカルイノベーション支援事業（経済産業省）

ア) 「富士山麓から医療機器開発へ」ふじのくに医療機器産業活性化推進事業

- ・高度医療機器開発の事業化支援

東海部品工業株式会社

タマチ工業株式会社

- ・医療機器開発に係る企業・人材の育成「QMS体制構築支援」

深澤電工株式会社

ヤザキ工業株式会社

日商産業株式会社

株式会社ヒューマン・エンジニアリング

- ・医療分野への参入促進セミナー開催（富士山麓ビジネスマッチング促進事業再掲）

第1回 令和元年12月20日

第2回 令和2年1月28日

イ) 「Made in Mt. Fuji」を世界に売る」ヘルスケア産業分野の海外販路拡大・体制構築支援事業

- ・海外販売網の拡充のための海外拠点整備支援
- ・海外ヘルスケア市場調査
- ・海外展示会出展支援（MEDICA2019）
- ・海外展開に必要な品質管理体制構築支援
- ・海外で売れるヘルスケア関連製品の開発支援

(2) 次世代がん医療創生研究（日本医療研究開発機構）

多施設共同研究

研究テーマ：tRNAエピトランスクリプトーム創薬で実現するがん幹細胞標的型抗がん剤の開発

参画機関：国立大学法人 岡山大学

(3) 地域中小企業知的財産支援力強化事業（中部経産局）

事業名：モノ語りプロジェクト

産学連携機関主導型の医療機器関連知財の社会実装化プログラムの構築
（公益財団法人名古屋産業科学研究所）

収 益 事 業 <事業費 119,087,335 円>

収 1 静岡県医療健康産業研究開発センター管理事業 <事業費 118,485,811 円>

ファルマバレープロジェクトの拠点となる「静岡県医療健康産業研究開発センター」の指定管理者として、施設の管理業務等を行った。

1 施設の管理事業

(1) 施設の維持、管理業務として、「施設警備」「設備の保守・点検」「日常清掃」「衛生関係」「植栽管理」等を行ったほか、非常時対応のための各種訓練を実施した。

消 防 訓 練：令和元年6月14日に実施 参加者198名

地震防災訓練：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

防 犯 訓 練：さすまたの使用講習を令和元年11月22日に実施

(2) 施設維持管理、危機管理の観点から入居企業・県・委託業者と定例会議を行った。

開催日	内 容	場 所
4月18日	施設点検日程・センター・県からの連絡他	PVC大会議室
5月16日	施設点検日程・センター・県からの連絡他	PVC大会議室
6月20日	施設点検日程・センター・県からの連絡他	PVC大会議室
7月18日	施設点検日程・センター・県からの連絡他	PVC大会議室
9月19日	施設点検日程・センター・県からの連絡他	PVC大会議室
10月17日	施設点検日程・センター・県からの連絡他	PVC大会議室
12月19日	施設点検日程・センター・県からの連絡他	PVC大会議室
1月23日	施設点検日程・センター・県からの連絡他	PVC大会議室
2月20日	施設点検日程・センター・県からの連絡他	PVC大会議室
3月19日	施設点検日程・センター・県からの連絡他	書面開催

2 入居者支援事業

施設に入居する企業の研究開発事業に対し、リーディングパートナー企業及びオフィス入居企業と連携し、企業ごとに、担当するラボマネージャー又はコーディネーターが伴走支援するなど、きめ細かいサポートを実施した。

開催日	内 容	場 所
4月18日	(株)イズラシの事業紹介	PVC大会議室
5月16日	「健康長寿・自立支援プロジェクト」の紹介	PVC大会議室
6月20日	(株)オンデマンド研究所の事業紹介	PVC大会議室
9月19日	(株)ホリックスの事業紹介	PVC大会議室
10月17日	御殿場市商工会工業部会展示・交流会	PVC大会議室
12月19日	ウォーマー(株)事業紹介	PVC大会議室
1月23日	(株)フジネットの事業紹介	PVC大会議室
2月20日	(株)ナユタの事業紹介	PVC大会議室

3 連携・交流事業

入居企業間、入居企業と地域企業等との交流を促進するとともに、アイデア創出やマッチングの場を提供するため、施設を活用したセミナー・講演会等を開催した。

開催日	セミナー	内 容	参加者
7月19日	製品開発セミナー	(株)丸井商事及び(有)京和工業による製品開発事例の紹介	41名
10月17日	御殿場市商工会 工業部会交流会	入居企業と地域企業との情報交換・交流会の開催	67名
10月30日	知的財産権戦略セミナー	地域が保有する技術や知的財産を事業の中で活用することによる地方創生の可能性についての講演	53名

4 貸館事業

医療健康分野の人材育成や産業振興など、医療機関、企業、産業支援機関等の利用を想定し、広く会議室を貸出した。

5 広報

静岡県医療健康産業研究開発センターのPRと貸会議室の利用促進のため、各種団体の視察を受け入れるとともに広報用パンフレットを作成した。

視察受入れ：18団体 163名（再掲）

(参考)

1 理事会等の開催状況

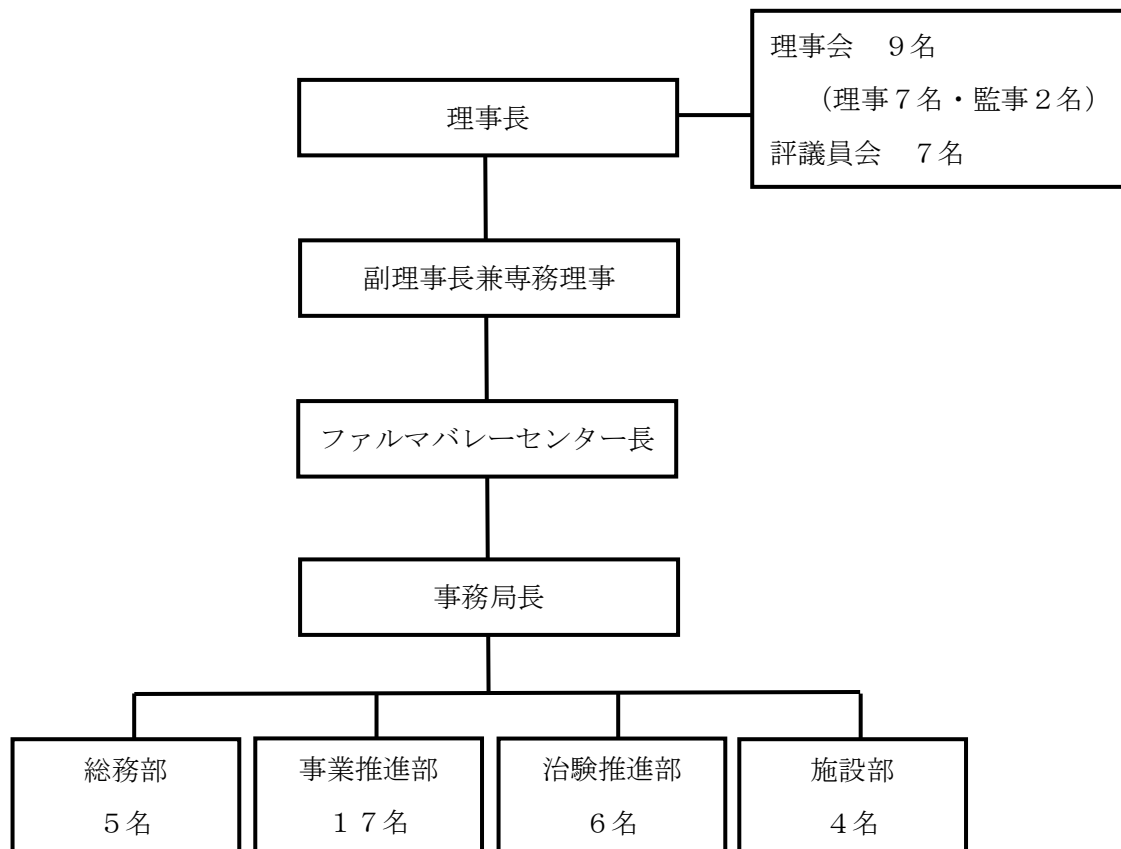
(1) 理事会

回数	開催日	出席者	内 容
第1回	令和元年6月4日	理事 7名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none">・平成30年度事業報告・平成30年度決算報告・評議員会の招集
第2回 (書面)	令和元年6月21日	理事 7名	<ul style="list-style-type: none">・理事長の選任・副理事長の選任・専務理事の選任・ファルマバレーセンター長の選任
第3回	令和2年3月17日	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度事業計画・令和2年度収支予算・公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構就業規則の整備・評議員会の招集

(2) 評議員会

回数	開催日	出席者	内 容
第1回	令和元年6月21日	評議員7名	<ul style="list-style-type: none">・平成30年度決算報告・理事の選任
第2回 (書面)	令和2年3月24日	評議員7名	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度事業計画・令和2年度収支予算

2 組織体制（令和2年3月31日時点）



3 事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第9条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。